

テーマ

ホテルマンになりきって、日本語で接客し動画を撮影しよう！

目標

学習者レベル (日本語 N5)

- 自国文化の理解と日本人観光客の好みを理解し、日本人観光客に好まれるものと好まれないものは何かを説明できる。
- 会話能力の向上: スタッフと日本人のお客様の会話を想定し、フロントとフィットネスセンターでの会話スキットを作成して日本語で接客できるようになる。
- 情報機器やアプリを使った多角的な学習。動画編集アプリ、YouTube 等を使って動画を作成する。

コミュニケーション能力指標

【話題分野】人との付き合い

1-a 人との付き合いでよく使う基本的なあいさつ表現を、言ったり、聞いて理解したりできる。

【話題分野】交通と旅行

2-b 目的地までの所要時間や費用について尋ねたり教えたりできる。

2-c 目的地までの交通機関、ルート、所要時間や料金について、尋ねたり、口頭でまたは書いて教えたりできる。

3-a 目的地までのアクセス方法を尋ねたり、説明したりできる。

学習シナリオ

<場面状況>

科目名：ホテル日本語Ⅱ

学年：2年

時間数：2時間/週

クラス人数：52名

レベル：初級(N5)

台湾 M 大学ホテル学科では、二年生 52 名がホテル日本語を選択科目として履修している。ホテル日本語と言っても、ほとんどが大学入学後初めて日本語に触れ、週に一度だけの学習なので、複雑な敬語の説明はせずできるかぎり簡単な内容で行う。三年次にホテル実習があるので、それに備え簡単な会話や単語を聞いたり話せたりするようになることが目標である。

<活動の流れ>

第 1 回は、前期のおもてなしの基礎 10 句をおさらいする（いらっしゃいませ、少々お待ちください等）。フロントオフィス、フィットネスセンターに関連する単語を調べ自分が覚えたい物をリストアップする。

第 2 回は、先週リストアップした単語を発表する。宿題で、先輩にインタビューし実習中の楽しかったことや苦労したこと、接客中に日本語が通じたり通じなかったりした経験を聞き、プリントにまとめる。

第 3 回は、先週の宿題を発表する。ペアを組み、会話スキットを作成して提出する。先輩へのインタビューの内容ふまえ、覚えておくべきだったことなどを織り込む。フロントオフィスを選択した場合、お客様に付近のおすすめスポットやグルメを聞かれることが多いので、日本人には何が好まれるかを考えてそれを織り込む。単語の小テストを受ける。

第 4 回は、会話を練習、暗記する。

第 5 回は、スキットの暗記テストを受ける。

第 6 回は、動画を取る。そして動画編集アプリで編集し、YouTube にアップし、URL を e-learning に貼り

付け教師に送り作品を提出する。提出する際に自作品のウリの部分を書きこんでアピールする。プロジェクトの最後で簡単な表彰式「最優秀会話賞」「最優秀編集賞」等を選び、表彰する。

第7回は、発表会で作品を発表したり、他ペアにアドバイスする。

総括的評価

成果物として：

- 関連単語リスト
- スキット原稿
- 動画（会話を録画したもの）